

漁況情報 No.16 平成 18 年 10 月 12 日発行

岩手県水産技術センター 漁業資源部

Tel : 0193-26-7915、Fax : 0193-26-7920、E-mail : CE0012@pref.iwate.jp

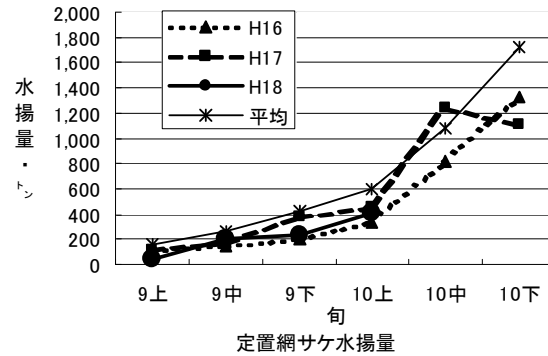
* 本報は当センターホームページ (<http://www.pref.iwate.jp/hp5507/>) に掲載しています。

<< トピックス >>

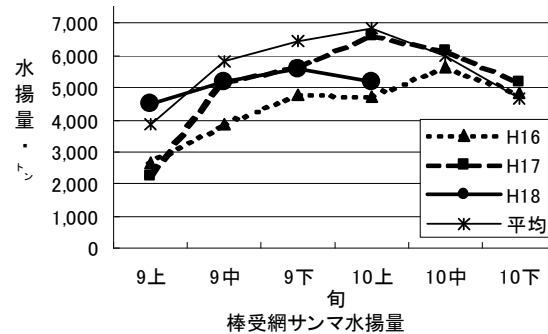
アキサケ(定置網)、サンマ(棒受網)はやや低調です。
スルメイカ(いか釣り)の水揚げは低調ながらやや回復しました。
サバ類(定置網)は好調です。

1. 水揚げ状況

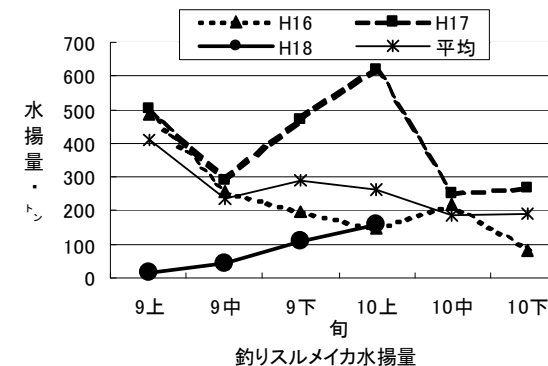
(1) アキサケ(定置網)は久慈を中心に水揚げがあり、10月上旬の水揚げ量は406トン(前年の89%)でした。また、10月上旬の過去5年間の平均水揚げ量は602トンで、旬水揚げはその68%でした。年累計は913トン(前年の78%)です。



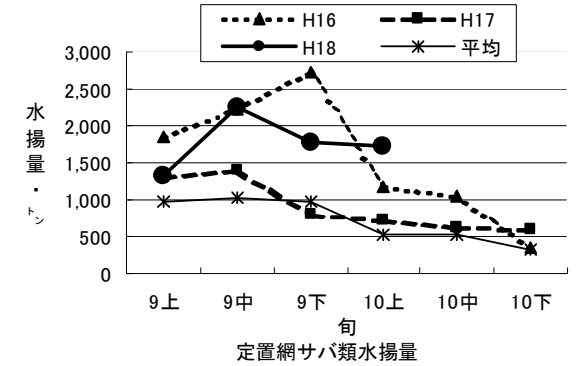
(2) サンマ(棒受網)は宮古、大船渡を中心に水揚げがあり、10月上旬の水揚げ量は5,167トン(前年の78%)でした。また、10月上旬の過去5年間の平均水揚げ量は6,853トンで、旬水揚げはその75%でした。年累計は22,043トン(前年の88%)です。



(3) スルメイカ(いか釣り)は水揚げがまともならず、10月上旬の水揚げ量は158トン(前年の26%)でした。また、10月上旬の過去5年間の平均水揚げ量は262トンで、旬水揚げはその60%でした。年累計は860トン(前年の30%)です。



(4) サバ類(定置網)は釜石、大船渡を中心に水揚げがあり、10月上旬の水揚げ量は1,717トン(前年の2.4倍)でした。また、10月上旬の過去5年間の平均水揚げ量は514トンで、旬水揚げはその3.3倍でした。年累計は18,520トン(前年の1.3倍)です。



* 水揚げ状況は主要6港(久慈、宮古、山田、大槌、釜石、大船渡)の集計です。

2. 調査結果、その他の情報

◎ サバ類精密測定結果

10月上旬に水揚げされたサバ類(釜石魚市場、定置網)の精密測定を行いました。

体長は32~33cmが主体であり、9月上旬より1~2cm程度大きく、9月下旬より1~2cm程度小さくなっていました(図1)。本県で水揚げされるサバ類には、マサバとゴマサバがあり、両種は体長(尾叉長、図2、A)と背びれの長さ(第1背びれ第1~第9棘基底長、図2、B)の比で判別できます(詳細は漁況情報No.7参照)。この判別方法によると、今回測定したサバのほとんどがマサバでした(図2)。また、7月上旬の漁獲物はマサバ主体でしたが、9月上旬にはゴマサバ主体となりました、10月上旬には再びマサバ主体となりました(図2)。

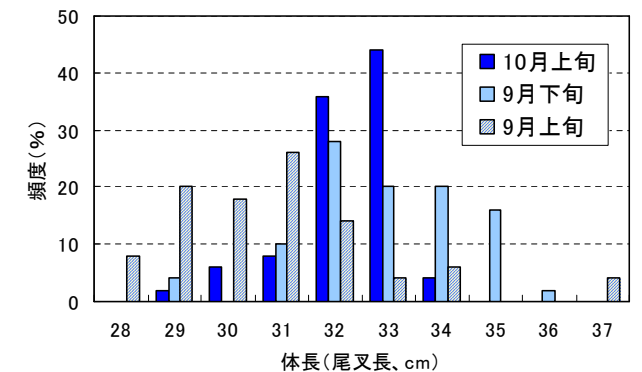


図1 サバ類体長組成

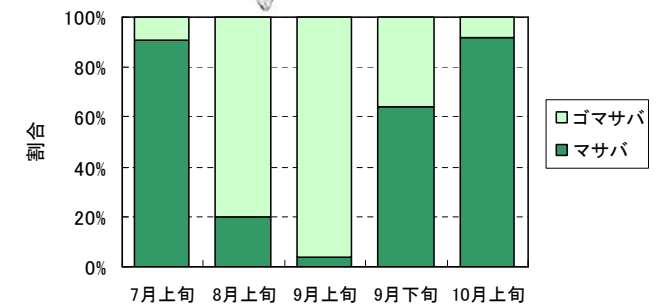
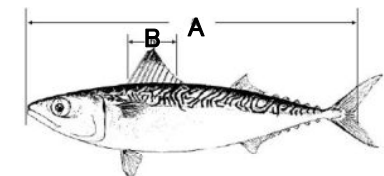


図2 マサバ、ゴマサバ判別指数

「フィッシャリィ・ネットいわて」(<http://www2.suigi.pref.iwate.jp/>)で、日別・市場別・魚種別の水揚げ状況、定地水温などを検索できますので、こちらもご活用下さい。